

教育研究所だより





第312号

2021年7月1日

前期教育研究員 所内検討会 (検証授業へ向けて)

6月9日(水)、検証 授業へ向けての所内検討 会が、所長、主任指導主 事、指導主事、幼児教育 担当主事、全研究員が参 加して、行いました。各 研究員の検証授業計画に ついて、研究仮説等との



所内検討会の様子

整合性、手だてや評価規準の具体性等を検討し、それぞれ の課題を明確にしていきました。

今後、指導講師から御指導いただきながら、検証授業を行い、研究を進めていきます。

前期教育研究員所外研修南部広域行政組合関連施設見学

5月27日(木)の所外研修では、南部広域行政組合関連施設である東部環境美化センターと、最終処分場「美らグリーン南城」を見学しました。各施設の概要や現状に関する講話等を通して、南部広域行政組合及び各施設

の事業内容や、安全か つ衛生的にゴミを処理 する工程や、環境にや さしいゴミ処理にやい て理解を深めることができました。更に、が ごきを出さない生活のた とができ、教師として の視野を広げる機会と なりました。





説明に耳を聴ける研究員

【研究員の声】

- 〇数年前よりもゴミの量が急増していることを知り、その 処理に職員の皆さんが大変ご苦労されていることが分 かった。家で出来る分別はしっかりやるとともに、食品 ロスを減らす等ゴミを出さない工夫もしていきたい。
- ○これほどの設備と労力とお金を使っていることに驚いた。ごみ減量の必要性を感じた。灰をきれいにするための水や、それに伴う汚水処理、さらには汚水処理から出る産業廃棄物などの現状について知ることができ、学びの多い時間となった。
- ○食事をテイクアウトする機会が増えることは、容器のごみが出てしまい、ごみが増えるという現状に気付いた。 日常生活から出るごみの量を意識し、減らしていきたい。
- ○ごみを安全に処理することの大変さを、生徒や職員にも 伝えて、ごみ処理や食品ロスの問題などについて一緒に 考えていきたい。

7月の主な予定

1	木	幼児教育短期研修(充実ステージ①)Zoom
		しののめ教室教育相談 (~7/5)
6	火	〈長研〉本検証授業「小学校プログラミング」 上田小学校 教諭 桃原 健
8	木	〈協力員〉授業研究会「中学校英語」 潮平中学校 教諭 新垣 望
14	水	〈協力員〉授業研究会「小学校特別活動」 兼城小学校 教諭 本村佑衣
15	木	〈長研〉本検証授業「中学校国語」
		三和中学校 教諭 當間沙織 しののめ教室スタッフ会議
16	金	〈協力員〉授業研究会「中学校英語」 糸満中学校 教諭 久山智恵子
20	火	園内研修支援「津嘉山幼稚園」
21	水	ヒアリング⑦ (検証・考察・まとめ)
26	月	指導講師検討会④(~7/26)
		小中自主参加講座① (小学校国語) Zoom
27	火	小中自主参加講座②(算数)Zoom
29	木	小中自主参加講座③ (SDGs) Zoom
30	金	小中自主参加講座④(特别支援教育)Zoom

前期教育研究員所内研修「三線クラブ」

5月から6月にかけて全5回行われました。講師の新垣 盛広氏の御指導のもと、琉歌、工工四の読み方、三線の弾き 方を学び、安波節や安里屋ユンタ、故郷等を練習していきま した。先人が築いてきた特色ある文化への理解を深め、伝統 文化を継承・発展させることの大切さについて学びました。



【研究員の声】

- 〇三線の歴史、歌詞の意味等をとても楽しみながら聴いた。五曲の課題曲を弾けるようになったことで、他の曲にも挑戦したいという気持ちが芽生えてきた。
- ○歌詞の情景を浮かべながら歌うことが大切と分かり、 「三線は奥が深い、すごい技だ」と感じた。
- ○三線の作り手の方々の現状を知り、沖縄人として自分 も伝統を受け継いでいかなければならないと思った。
- ○三線の楽しさを、今度は私が生徒たちへ伝えていきた い。学校のクラブの指導などにも生かしていきたい。